

第2次佐渡市将来ビジョン 市民意見交換会の概要

日時		会場	参加人数	備考
11月15日（金）	19：00～20：30	金井コミュニティセンター	27人	
11月17日（日）	13：30～15：00	畑野農村環境改善センター	15人	
11月21日（木）	19：00～20：30	あいぼーと佐渡	32人	
11月22日（金）	19：00～20：30	羽茂農村環境改善センター	gaiyo	
11月25日（月）	19：00～20：30	あいかわ開発総合センター	28人	
合計		5地区	136人	

カテゴリ	質問	回答
ビジョン全体	課題ばかりで明るい部分がない。 2030年の人口だけでは何を目標しているのかわからない。	わかりやすい、前向きな表現を冒頭に盛り込む。
ビジョン全体	過去の総合計画、集中改革プランと将来ビジョンとの関係は。	平成17年9月に平成26年度までの総合計画を作成。平成21年12月に第1次ビジョンができ、平成25年12月にその中に行財政計画を組み込んで最上位計画という位置づけにした。
ビジョン全体	総合計画には明確な数値指標が載っている。今回のビジョンにはないのか。 目標値をもって、いかに達成するかが重要である。	本文には記載する。 目標に近づくよう努力する。
ビジョン全体	第1次ビジョンの検証はしているか。総括は示されるのか。その結果は第2次ビジョンに反映されるのか。	第1次ビジョンの検証については、市民の皆様にもしっかりお示しできる形をとる。
ビジョン全体	第1次ビジョンから変わったところはどこか。	基本的には前回踏襲。主な変更点は、子育てやキャリア教育の関係、農業におけるICT活用関連、時勢に応じた観光施策、ICT関連企業誘致、移住定住における奨学金、災害に強い島づくり、自然エネルギーの島構想、等。
ビジョン全体	5か年計画なのか。	計画自体は10年間。5年ごとに見直しを行う。
ビジョン全体	行政と市民が共同で行う施策と行政の決断で行う施策を明確にしたほうがよい。	どのような記述にするか考えさせていただく。
ビジョン全体	アンケート調査は実施しているのか。 大事な問題は島民にアンケート調査してほしい。	平成31年3月に市民と市内事業所を対象としたアンケート調査を行った。 住民の意見の反映のさせ方が現状で十分とは思っていない。どのような方法があるか検討させていただく。
ビジョン全体	ビジョンについて議会に説明しているのか。 策定に向けてのスケジュールはどうなっているのか。	この意見交換会での意見も踏まえ、推進会議を開催し、12月議会で議会に説明、12月末にパブリックコメントを行い、2月に策定する予定。
ビジョン全体	個別計画の位置づけは。	ビジョンがトップでその下に個別計画。現ビジョンとの乖離を見直し、構想を10年、基本計画を5年として、この取組みを踏まえ次の5年につなげる。
ビジョン全体	エリア別のほかに個別計画は何かあるのか。	子ども子育て支援計画など各課に個別計画がある。
ビジョン全体	ビジョンが変わるのに個別計画は変更しないのか。第2次ビジョンの内容に基づいて変更するのであれば、それはいつになるのか。ビジョン策定スケジュールとの兼ね合いは。	第2次ビジョンの策定と並行して個別計画の変更、見直しを進めている。令和元年度で期限を迎える計画は、ビジョンの内容にあわせて見直しを行う。令和2年度以降も継続する計画については、見直しも含めて検討する。
ビジョン全体	推進本部会議、推進会議に女性は何人いるのか。	推進本部会議の中に部会があり、医療・福祉・子育て部会の中に子ども若者課長が1名、推進会議は4名いる。
ビジョン全体	将来ビジョン等策定・推進会議の議事録ホームページ掲載が遅い。	4月、7月、9月の3回実施している。ホームページ掲載時期が遅いのは申し訳ない。

カテゴリ	質問	回答
ビジョン全体	ライフステージごとの切れ目のない支援について、年代ごとに支援内容を記載してはどうか。	イラスト、グラフを入れ、わかりやすく作成している。
人口	人口減少の要因は何か。	社会減。今までは佐渡へ帰ってくるための環境づくりをしてこなかった。
人口	人口減少を抑制する具体的な施策は何か。	Uターン者の確保。
人口	2030年の人口42,000人に対して46,000人を維持するという根拠は何か。	42,000人は社人研の推計。46,000人はこれに対し特殊出生率を「2.01」とした場合の推計。
人口	特殊出生率の目標を「2.01」にする根拠は何か。	過去10年間で最も多かった佐渡市の特殊出生率。
人口	人口の減り方は佐渡の各地で違う。2030年の人口にも偏りが出るはずだが、この資料にはそれが考慮されていない。	エリア別振興策は現在行っているが、エリアごとの人口動態の検証は行っていない。ご指摘ありがとうございます。
人口	佐渡市の団塊世代人口は。	資料がないため後日提出する。
医療・福祉・介護	現状健康づくりと介護が縦割りとなっており、連携が薄いと感じる。	-
医療・福祉・介護	社協と共同で行う配食サービスはご飯とおかずがセットになっている。おかずのみも可能にしてほしい。	担当課に要望があった旨伝える。
医療・福祉・介護	佐渡病院において、脳外科等緊急の手術はドクターヘリで新潟の病院に連れて行く場合もあるというが、緊急時の対応をどう考えるか。	脳外科や心臓等手術まで時間的余裕のない分野の医師の確保は進める必要があると考える。
医療・福祉・介護	両津病院は佐渡病院より給料、退職金が高いのに、両津病院を建ててやっていけるのか。	賃金は条例で定めている。変更する場合は議会に諮る必要がある。また、佐渡病院の賃金は把握していない。
医療・福祉・介護	両津病院は市民のために作るべき。市民は朝からフェリーやジェットfoilに乗って新潟の病院へ通っている。それが安心して暮らせる島とは言えない。	医師・スタッフ不足は把握している。安心して暮らせるほど改善できるか難しい。各病院のローテーションで医師を派遣するなど、どういう仕組みがつけられるか検討する。訪問医療は公立病院が担わなければならない。佐渡は県立病院のない唯一の医療圏なので、今後も医師確保について県に働きかける。
医療・福祉・介護	佐渡病院はいじめ、パワハラがあり、看護師がやめていく。	こういう声もあるというところはお伝えさせていただく。
医療・福祉・介護	新潟県の障がい者福祉は行き届いていないので、真剣に考えてほしい。	福祉行政は年度年度の積み重ねだと思っている。合格点をもらうのは難しいが努力していく。
医療・福祉・介護	安心して暮らせる医療・介護・福祉は課題が多い。医療は島外の病院へ通い、福祉はお世話、介護は施設の問題などある。そこを具体的に明確に方向性を書き示してほしい。	-
医療・福祉・介護	温泉の利用客が少ない。市で補填して利用料を安くしてほしい。	温泉の運営維持は四苦八苦している。料金なのか、運営サポートなのか、委員会を作ったので方向性を踏まえ検討する。時間をいただきたい。
出産・子育て	佐渡の自然の豊かさに惹かれてくる人は子どもも自然に迎えたいということが多いが、それを実現できる環境が佐渡にはない。	-
出産・子育て	豊かな自然があるのに子どもたちが屋内で遊ぶしかない状況である。佐渡の自然を生かした、青空自主保育のようなものを市として行ってもよいと思う。	外で遊べるような環境をどのように作るかという意識の醸成は行っていないかならぬと思う。
出産・子育て	佐渡病院が産婦人科をやめると聞いた。	初耳である。産婦人科がなくなることはないと思っている。佐渡病院の運営体制については、常に県に要望している。
出産・子育て	出産環境維持もビジョンに入れてほしい。	検討する。
教育・人材育成	就学環境整備の文言がビジョンの中に出てこない。専門学校や大学を誘致してほしいということではなく、ネットの学校もある。島の外に行かなくても勉強できる環境を整備してほしい。	就学環境整備の記述についてはおっしゃるとおり議論が足りていないのでもう一度考えさせていただきたい。一方で、現状では「島から一度出ていく」ことを止めるよりも「出て行って就学してキャリアを積んで戻っていただく」環境を作るという方向を考えている。

カテゴリ	質問	回答
教育・人材育成	職員・市民の人材育成を入れてほしい。佐渡市の人材バンクをもっと打ち出して、市民の一芸持っている方、Iターンの方などをうまく活かしてほしい。	職員や佐渡の未来を担う人材の育成に力を入れなければならないと考えている。
文化・芸能	佐渡おけさや鬼太鼓を通年で観られる施設を作ってほしい。	遊休施設の活用について現在話し合っている。
文化・芸能	重要文化財が展示できる美術館を作ってほしい。	現状の博物館の役割が明確になっていないので全体を整理しようという作業を始めている。どの程度ビジョンに書き込むかは検討させていただきたい。
移住・定住	島から進学・就職等で出ていく人に対して「どのような環境だったら島へ帰ってくるのか」といったアンケートを行ったことがあるか。	行っていない。2年前から始めた奨学金の利用者については、先方に佐渡の情報を提供し、先方の情報も聞き取るという体制ができています。高校生については県の教育委員会が実施している部分しかなく、市独自のアンケートは行っていない。
移住・定住	佐渡に住みたいと思う人の中には、どういう人がいると考えるか。	若者世代にとっては子育て、教育、医療関係がしっかりしていること、高齢者世代にとっては医療関係、自然・食も含めた生活環境の魅力はあると聞く。一方で、住処には満足しておらず、一軒家に住みたいが空いている家が大きすぎるというような声もある。
移住・定住	若い人たちは第1次産業に魅力を感じている。産業系の専門学校を作ればいいのでは。耕作放棄地等を若者たちに提供すればみんな喜んで第1次産業を行う。	専門学校開設のご提案をいただいたが、生徒の集まる可能性、開設自体が認められるかのハードルが高い。むしろ1次産業に取り組む意欲のある方がUターンした際に、島に根付くための支援を行う。高校を卒業して島を出て行った人が専門分野を学んで、就職して、一定のキャリア・技術を身に付けて佐渡に帰ってきて産業に携わることができる仕組みを考えたい。
移住・定住	Uターン年間90人というが、その定着率は。	別途資料提供する。
移住・定住	10年前より上がっているのか。三浦市長の手ごたえはいかがか。	10年前20～30人であったが、ここ数年で増えている。
移住・定住	移住者の世代バランスはどうか。	移住の相談をする世代はリタイアされた方から若者になってきている。
移住・定住	移住者を増やし、出会いの場を作ってほしい。婚活をするべき。	Uターンの底上げをしないとカップルは成立しない。奨学金免除制度活用が2年で90人いる。どれくらい帰ってくるのか結果はまだ先である。婚活は以前実施していたが、上手くいかなかった。
防災	防災センターを作って庁舎と図書館を入れてほしい。	-
防災	防災の観点から、消防本部を別の場所に移してほしい。	県のハザードマップにおいて地震・津波の影響はないと聞いているが、今後対策も含め検討する。
防災	防災の観点から、佐渡市議会を金井に移転すべきではないか。	県のハザードマップにおいて津波の影響はないはずだが、議会と協議・相談する。
防災	防災について、区長が避難を呼びかけても避難しないという記事を見たが、全員が自分ごとになるような仕組みを作ってほしい。	定期的に防災の意識を高めるようなものを支所・サービスセンターレベルで行っていきたく内部で協議しているところである。
防災	災害の際、インフラ関係は大きな課題であるが、非常時事態に対応できるような連携体制づくりが必要であると思う。例えば、問題が起こったときにどこに指示をだすと、どう動くのかという流れをしっかりと示す。	水道凍結の際に振り返りを行ったが、漏水チェック対応などは非常に大きな課題となり、連携協定が形骸化していたというケースもあったため、改めて年度ごとの協定を結び直すように仕組みを変更している。市・地域・個人でやることわかるよう説明をできるようにしていきたい。
防災	消防の職員数が足りていないのではないか。	現在の181人を保ちたいと考えている。緊急時の体制については消防でマニュアルがある。消防団の数の維持については課題であると考えている。
防災	火災報知機の設置率が佐渡はいいというのは聞いたが、次の付け替えについてはどのように周知するのか。	佐渡全島の火災報知機のチェックを行い、設置や付け替えについてアドバイスを行っている。今後も定期的に続けていきたいと考えている。
産業	企業誘致が大事である。企業が魅力と感じる佐渡の資源は何なのかということを考えなければならない。	企業誘致は確かにPRが足りていないと思う。物流のハンデがないITのような分野に絞って島の魅力を発信するような組み立てで進めている。

カテゴリ	質問	回答
産業	「起業」「第二創業」はいい言葉だが、企業はスタートアップから経営の安定までに平均8年かかるという定説がある。10年計画で8年後に成果が出るような計画に頼っているのは怖い。もっと短期で成果が出ることを考えなければならぬのでは。	起業するにあたって最も負担が重い初期投資部分をどこまでサポートできるかということがこれまで検討されていなかったため、それを入れようと内部で話し合っている。
産業	「持続可能な一次産業の展開」に「規模拡大」とあるが、これが佐渡の農業を解決するかという疑問がある。むしろ担い手が激減していることを懸念する。これを受けての「経営の多角化・複合化」ということだと思うが、これは園芸農業の推進ということだと思うので、具体的に書いたほうがよい。	「規模拡大」については、担い手が減少しているからこそ規模拡大、農地の集約が必要である。少ない人数で効率的にICT等を活用しながら収穫量を維持する必要があるという意味で書かせていただいた。誤解があれば表現方法を検討させていただきたい。
産業	第二次産業に関する記述がない。	第二次産業の記載については検討させてもらう。
産業	柿農家を続ける若者がいない。人手不足である。	後継者支援の方法についてJA、公社と検討している。
産業	柿を利用した新商品を開発してほしい。	商品開発は行政より民間のアイデアが柔軟である。行政はそれに対して財政支援を行う。
産業	農業の政策について大豆の件で意見したが、今どこまで進んでいるのか。羽茂の柿プランは松ヶ崎、赤泊、小木も入り300ha達成するのに8年かかった。力強い支援をお願いしたい。農業はそんなに弱くない。	-
産業	公社について、議員から苦情が聞こえて困っている。	島内唯一の公社であるため、担う役割を拡大する計画がある。お示しできる時がきたら説明する。
産業	市職員の職務専念義務を免除して柿の収穫を手伝わせてほしい。	-
産業	農林水産業の担い手確保のための具体的な施策は、これまで市で行ってきたことの実績は。	農業は国から5年の支援があるが、独立のためのサポートをしなければ大規模・複合経営につながらない。漁業は支援が薄い。国は45歳までの年齢制限があるため、それを超える方への支援を内部で検討している。
環境、エネルギー	風力発電を考えているようであるが、現在の電力需要はどうなっているか、それに対してどう整合を図るか。	現在島内の96%程度を化石燃料の火力発電に頼っている。水力発電は小規模の可能性はあるが大規模は難しい。太陽光は通年の日照時間が安定しない。現実的なのは風力発電。
環境、エネルギー	なぜ洋上風力発電なのか。陸上ではだめなのか。	県の調査によれば風力発電の適地は多々あるが、島内の適地は国定公園等で設置に制限があるため。
環境、エネルギー	洋上風力発電に積極的に取り組んでほしい。	県が発表した「自然エネルギーの島構想」を受け、財源確保、国の候補地選定のために取り組み始めたところ。
環境、エネルギー	温暖化を見据えた交通政策を進めてほしい。非常に車が多い。	排気ガス等の対策は第1次ビジョンでもうたっていたが、なかなか進んでいないというのが現状。新潟県が発表した「自然エネルギーの島構想」もあるので、今後も引き続き、県と協力しながら再生可能エネルギーの推進を図っていきたくと考えている。
観光	世界遺産登録やクルーズ船をどう活用していくかという具体的な記述がないと一般的に過ぎるのではないか。	世界遺産については、観光振興においてこれだけではなくジオパーク、GIAHS等とあわせてビジョンに書かせていただくこととなっている。
観光	相川の世界文化遺産登録に向けての整備が不十分である。街並みのつくり方、ビジョンを早めに示してほしい。	歴史的風致まちづくり事業が国に採択された。シミュレーションを重ね街並み再生のために検討しているところ。
観光	金銀山は、今のままだと登録されても1年で終わってしまう。2年、3年と続けていく具体策は何か。	世界遺産は3年で右肩下がりにになると聞く。同じことが佐渡でも予想される。金銀山以外の魅力を伝えることが必要。佐渡観光交流機構と連携し、魅力を発信し長期滞在につなげる観光モデルを考えている。
観光	宵乃舞に来る観光客が減っている。ござの上に座らせているようではおもてなしが足りない。	毎年、改善は行っている。観光客も出演者も減ってきていることも把握している。雰囲気大切にしながら、観覧の仕方は検討する。
観光	世界遺産登録を観光に結び付けてはいけぬ。金銀山、GIAHS、ジオパークは、佐渡に誇りを持つための教育。子供たちが佐渡に住みたいと思えるようになってくれればよい。	金銀山、GIAHS、ジオパークについては、小中学校での佐渡学・総合学習として取り組みを始めている。観光ビジネスにつなげることはまだまだ足りていない。
空路	空港はいつ再開するのか。	1日も早く再開したい。あくまで県営空港であり県の理解が必要。昨年7月就任した花角知事は理解を示しているため、引き続き協議を進めていきたい。

カテゴリ	質問	回答
空路	地権者にどのような説明をしているのか。	地権者とのやり取りは控えさせていただきたい。
空路	現行の佐渡空港でも離発着できる航空機の導入についてどう考えているか。	県と協議している。
空路	空路の運営には民間会社が必要なのか。	県と協議している。
空路	佐渡から首都圏への空路が必要である。	現在の空港でも離発着できる機種を導入する場合、佐渡と首都圏をどう結ぶかという観点で検討している。
空路	空港についてビジョンに盛り込んでどうか。	検討する。※既に記載がある。
航路	島外から介護、お見舞いに来る方の旅費の割引をしてほしい。佐渡に寄付をしていただき、年間何回かの半額の運賃を支給するなど。	運賃低廉化は実施しているが、佐渡にお見舞いや介護に来られる方も島民と同じ扱いにできないか国へ要望しているが現状実現していない。ふるさと納税の返礼品としては検討させてもらう。
航路	航路の利便性についてはどのような要望をしているのか。	JF・CFの更新時期にきている。県が最大株主となるが、JRとの連携、2次交通との組み合わせについては汽船とは話している。
航路	あかねの運行時間を変更してほしい。直江津に40分しかいられない。1日1.5便でも良いので日替わりダイヤにする等。寺泊港があったころは便利であった。佐渡からの利用率が悪くなったのは、運行時間が悪いからである。	時間変更の意見が出ている一方、1日2往復を守れという意見もある。現在は直江津側に合わせたダイヤとなっている。島民の声、ダイヤの改正の要望は続ける。ダイヤの案が示されたら、より良くなるようやり取りする。
島内交通	公共施設を集約していくときにも地域別の人口のあり方を見ながら集約していくべきである。限界集落に対しどう手を差し伸べるのか。	交通弱者・買い物弱者等への支援の方法のみになっているため、プラスアルファでどういう対応ができるか検討が必要と考えている。
島内交通	相川でガイドをやっている。島外の観光バスの運転手より鷺崎より先に行けず、相川に戻るので不便だと聞いている。佐渡一周線道路の現状を教えてください。	県も年度毎に予算をもう少しずつ改良している。岩首付近のトンネルを含め改良を続けるかと聞いている。今後も県に要望を続けていくが、いつまでとは言えない。
島内交通	世界文化遺産登録、防災の面から、国中バイパスを両津まで延長してほしい。なぜ計画を中止したのか。	中止していない。ほ場整備と調整しているため、両津吉井方面など、どこにつなげるか決めている。
財政	財政計画というが、佐渡市の税収などが高くて知れている。むしろふるさと納税を現在の3億から15億に上げるというようなぶち上げ方をしてもよいのでは。	財政計画は基本的に直接の税収、国からの交付税措置、特定財源が主となる。ふるさと納税は流動的な要素がある。持ち帰り検討する。
財政	今年の議会が何かで、このままでは1年か2年しか財政がもたないというような説明をしたかと思うが、それは本当か。	1年・2年で底をつくというような回答はしていないと思うが、議事録を確認する。財政調整基金の取り崩しが続いているが、災害対応分を残しておくとなると、このままのペースで取り崩すと4・5年で底を尽きてしまうという説明はさせてもらった。
財政	ビジョンでは人口減としか書かれていないが、それに伴って職員の数や税収がどのくらい減るのかというのが明記されていないとわからない。	財政の部分については、概要版には掲載していないが、計画等に盛り込んでいく必要があると考えている。
財政	今年度予算で社会福祉協議会等への補助金の補助率を一律カットしたが、その前に執行部の給料を減らすべきではないか。	一律カットはしていない。メリハリをつけ重点と効率化を図り、社会福祉協議会へは20%増やしている。執行部の報酬については、財政状況を見てカットと対応策を検討する。
行政改革	給食センターについての議会対応を説得して進めてほしい。アウトソーシングの推進が重要。	給食センターについては議会、保護者、教員への説明が不足していた。他のアウトソーシングも同じで、市民から理解を得るため時間をかけて地道に説明を行う。
行政改革	行政運営の見直しについて。組織体制はどのようなイメージか。	現在は機動性がなく縦割りのまま。計画を作り実践できる環境が必要。支所・サービスセンターで支援が完結できるようにしていく。
ハード整備	両津病院に関する記述は本文にあるか。	第1節「医療・介護・福祉の連携づくり」に盛り込む。
ハード整備	両津病院の財政計画、KPIは何か。	それらは個別計画に落とし込む。
ハード整備	厚労省の示す病院統廃合計画との整合性はどうか。	現計画の方向性と一致している。
ハード整備	佐渡全体の市民のことを考えると、みんなが利用できる病院として両津病院は両津の端に置いていいのか。	昨年の3月から医療福祉介護の連携協議会において、地域別の人口やそれぞれの病院の役割を考えながら計画を組み立てている。

カテゴリ	質問	回答
ハード整備	両津病院基本設計のための予算は議決されているか。	議会に承認していただいている。
ハード整備	両津病院建設に対し国や県からの補助はあるか。	県に働きかけている。
ハード整備	市長が変わったら両津病院の基本設計も変わるか。	白紙に戻る可能性がゼロとは言い切れない。
ハード整備	両津病院の基本設計に「歌代の里(特別養護老人ホーム)」は入っているか。	両津病院に関する設計のみである。
ハード整備	「歌代の里」についてどのように考えているか。	両津病院と一緒に新設したい。民営とするため、来年度以降運営主体を公募する形になるかと思う。
ハード整備	「すこやか両津(介護老人保健施設)」についてどのように考えているか。	熱源が両津病院から独立しており、築年数も浅いため、今の場所でのまま運営することを考えている。
ハード整備	両津病院建設、庁舎問題については別途計画という説明だったが、これをどのような形で住民に説明していつ決めるのか。	平成29年度の変更時点で庁舎はいったん建設しないものとなったが、支所SCについては計画をそのまま延長し、現在改修がすべて終了している。このため第2次将来ビジョンからは庁舎建設の記述を削除している。両津病院は建設に向けた記述を本文に入れようと思っている。
ハード整備	スピードを上げて行財政をやるべきである。庁舎問題、両津病院など市民にも負担がかかることである。	両津病院はこれ以上遅らせない。アミューズメント佐渡の改修を12月補正に上げることで、令和6年に両津病院開院を目指している。
ハード整備	相川病院にも要望があったらどうするのか。	両津病院を最優先し、相川病院については検討する。
ハード整備	アミューズメントの改修工事について、4億多くかかるものが決まったが、もっと議員と話し合ってほしかった。	昨年12月議会において合併特例債の用途を検討する中で、両津病院の建設計画が当初よりも遅れており、財源の理解をいただけないとさらにもう1年遅れてしまうという点を踏まえて、経費は一定程度多くなってしまうが、別の財源を使う形となった。
ハード整備	新庁舎をどうしても建てなければいけないということではないのに、4億も多くかかる案にするのか。	複数案を議会に説明した中で、次年度以降も新庁舎を建設できる分の合併特例債を残す必要があるという話があり、これ以上計画を遅らせられない施設については、この方法しかないと考えた。
ハード整備	新庁舎建設が覆ったことが気に食わない議員がいると耳にするが、個人的には新庁舎建設に反対である。	新庁舎については、恐らくだが次期選挙において、市民の皆様の考えを聞くことになるかもしれない。
ハード整備	公共施設は支所(旧市町村)単位で整備すべきである。	-
ハード整備	相川体育館の改修状況は。	改修作業が遅れて申し訳ない。来年の3月には全て完了し使えるようにしたい。
意見交換会	概要版ではよくわからない・質問のしようがない。詳しい内容が出てから意見交換会を改めて開いてほしい。	今回の説明会は概要版に対して意見をいただくのが主旨。今後内容を市民の皆様にお示しし、パブリックコメントを実施して意見を集約させていただく。
意見交換会	旧市町村10か所で意見交換会を開催してほしい。	スケジュールの関係で開催しなかった。参加いただけなかった方については、今後ビジョンの内容を市民の皆様にお示しし、パブリックコメントを実施して意見を集約させていただく。
意見交換会	子育て世代、若者の参加者が少ない。配慮、周知が足りていないのではないか。	参加いただけなかった方については、今後ビジョンの内容を市民の皆様にお示しし、パブリックコメントを実施して意見を集約させていただく。
その他	島内で最も耕作放棄地の多い、過疎化の進んでいる地区はどこか。	細かな集落名までは把握していない。
その他	外海府から国中へ通じるトンネルを作してほしい。	現実的ではない。

カテゴリ	質問	回答
その他	同性パートナーシップの導入について両副市長の考えを伺いたい。	【藤木副市長】私自身は賛成だが、これは市が一方的に行う性質のものでなく、市民に対してコンセンサスが得られるかという点が重要であると考えている。 【伊藤副市長】最初にやると注目度が上がるというのはその通りであるが、議論を尽くすということが重要なので、今からすぐ行うのは難しい。私も個人の考えを尊重することは必要と考える。
その他	個人で田植えするには広い田んぼだと大変。コンバインで刈るとわら細工に必要な藁が残らない。小さな田んぼも大事にしていたきたい。	佐渡には棚田など大規模化できない田んぼもある。地域に応じた対応を続けていく。わらについては、わら細工等に使うためのものを集積する場所がある。
その他	市民の声を反映できる仕組みを作してほしい。	市民のおたより等窓口を設置しているが、この点について十分に機能しているか、内部で協議し、さらにより方法がないか検討したいと思う。
その他	平成29年1月に佐渡市の福祉について市長に訴えた。それに対して「職員一同精神誠意サービスの向上に努める」と返事があった。責任をもってやってほしい。それを守れない人に何ができるのか。	発言に対して足りていない部分、行き届いていないことはお詫びする。
その他	ひきこもりのアンケートほどの程度成果があったのか。公表しているのか、市長は知っているのか。	今、資料がないため回答できない。改めて提出する。
その他	社会福祉協議会の赤い羽根募金の値段が500円から700円に値上がりしたのはなぜか。	赤い羽根募金は佐渡市の事業ではない。
その他	能登から小木に海底トンネルを作るのか。	初耳である。物理的にも財政的にも現実味がない。